

# まちの話題

話題のニュースやイベントなどを紹介！

## 市内小学生のまちづくりが優秀賞

マイクラフト  
Minecraftカップ全国大会結果を市長報告



4月7日、デジタル空間でまちづくりのアイデアを競うマイクラフトの全国大会で、

第2位にあたる優秀賞などを受賞した市内の小学生チームが市長に結果報告をしました。大会テーマの災害から命を守るまちについて学ぶため、市危機管理対策推進課を訪れ取材。輸送ルートの大切さなど現実の課題も考え取り入れたことなどが評価され、836作品の中から選ばれたもの。メンバーは「まずやってみるというチャレンジ精神を身に付けることができた」と笑顔でした。

## 家庭的な環境で子どもの笑顔を

北河内初の児童養護施設がオープン



北河内地域で初となる児童養護施設・クジラハウス（長尾峠町、左写真）がオープンし、4月3日、開所式がありました。（公財）クジラ育英会から土地と建物の寄贈を受け、（福）大阪水上隣保館が運営。おおむね2歳～18歳の子どもたちが一緒に生活します。この日の内覧会（右写真）には地域住民も訪れ「子どもたちと関わる機会があれば」と話す人の姿も。施設長の濱口京子さんは「家庭的な雰囲気を大切にしながら子どもたちの成長・自立を支えていきたい」と話しました。

## 漫才で交通ルールを再確認

市PR大使の祇園が一日署長に



4月6日～15日に実施された春の全国交通安全運動に合わせて6日、ニッパーク

岡東中央で式典が行われました。昨年に続いて枚方警察署の一日署長を務めた市PR大使の漫才コンビ・祇園が漫才で交通ルールの大切さを分かりやすく解説。今年1月～3月の間、既に自転車に関連する事故が約70件発生していることを受け「自転車で曲がるときのハンドサインはこう！（写真）」など、自転車に乗るときのルールを身ぶり手ぶりを交えて呼びかけました。

## 安全・安心で開かれた施設へ

新たな可燃ごみ処理施設が竣工



3月28日、枚方京田辺環境施設組合が枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設（京田辺市田辺ボケ谷）の竣工式を実施しました。同施設はごみ処理場の老朽化を課題とする枚方市と京田辺市が、全国でも珍しい都道府県をまたぐ一部事務組合を立ち上げ整備したもの。同組合管理者の上村崇京田辺市長の「安全・安心な運営で信頼される施設を目指す」という式辞に続き、同副管理者の伏見隆市長は「市民に開かれた施設として環境学習の機会を提供していきたい」と話しました。

↓ほかの話題はこちらでチェック！



市公式フェイスブック  
「マイカタちゃいます、ひらかたです。」



市公式 X  
「こちら、枚方市です！」



市公式インスタグラム  
「i\_am\_in\_hirakata」



市公式LINE  
「枚方市」

# さくら、枚方

今年の春も市内各所でさまざまな桜の風景が広がりました。桜を楽しんだ皆さんの声とともに、今春の記憶をたどります。

山田池公園



天の川堤防



穂谷 小規模公園



楠葉中央公園



毎年春に楠葉中央公園でお花見を続けている楠葉在住の政近祐祐さん(11歳・写真中央)は「桜がきれいで、みんなとご飯を食べるのが楽しい。生まれた頃から来ていて、また来年も友達や家族と来たい!」と話しました。毎年同じ場所で過ごす時間が、成長の節目を刻む思い出として積み重なっています。

来年も枚方で桜を

いつもここで遊んでいるという穂谷在住の南志衣琉さん(11歳)は「今年の桜は特にきれい。花びらが降ってくる中で遊ぶのが大好き」と笑顔でした。仲よし四人組の元気な声が、公園の春の風景に彩りを添えていました。

渚水みらいセンター



王仁公園



▲枚方のマクドナルドでアルバイト(大学時代)

▼大学最後のテニスの試合で優勝(写真左。右は親友でありダブルスのペア)



▲大学時代、テニス合宿で芸出し(写真中央。隣は友達)。

## 青春と笑いが詰まった場所

街です!

愛知県名古屋市中区で育ち、お笑い番組を見るのを禁じられていた中、「こっそり見た「めっちゃイケ」(フジテレビ系)に衝撃を受け、大阪に憧れました。関西外国語大学に合格して、ついに大阪へ! 牧野にある女子寮で新生活を開始しました。大学で英語を学びながら毎日サークルでテニスに打ち込み、人前での芸出しにもハマりました。「ボケとツッコミの文化って素晴らしい!」と毎日わくわくしていました。牧野駅にある牧野松園ポウルで友達とカラオケをしたり、枚方のマクドナルドでバイトした日々もとても楽しかったです。枚方は、私の青春と笑いが詰まった街です!

# 枚方 思い出の1コマ

ひらかたかぞく

# 家族

枚方ゆかりの著名人の皆さんが秘蔵の写真とともに思い出を語ります。

第81回

さら 沙羅さん



綾瀬はるかのものまねで人気の女性ものまねタレント。昭和58年生まれ、愛知県出身。関西外国語大学卒業後、就職。声優を目指し上京して「笑っていいとも!」のそっくりさん選手権でチャンピオンになったことをきっかけにもものまね活動を始め、テレビやライブで活躍。高い再現力と表情の細かい演技が持ち味で、バラエティー番組や「千鳥の鬼レンチャン(フジテレビ系)」への出演でも注目を集めている。

## 編集後記

今回の特集を作っていく中で、離れて暮らす両親のことが頭に思い浮かびました。発災時に必ずそばにいられるとは限

らないので、自分の命を自分でも守れるように、父の日と母の日のプレゼントは防災グッズに決めました。



編集者 O